

# 特別支援学級国語科学習指導案

日 時 平成 22 年 6 月 24 日(木) 5 校時

児 童 4 年男児 1 名

授業者

## 1 単元名 本と友達になろう

教材名 白いぼうし (文学的文章)

## 2 単元について

### (1) 児童について

A児はこれまでに、「三つお願い」の学習を通して、場面ごとに言葉の意味や使い方を学習した。児童は読書が好きで「かいけつゾロリ」シリーズや「ほうれんそうマン」シリーズなどを登場人物になりきって音読している。初めて読む本でも比較的すらすらと読むことができるが、言葉の響きや文のリズムを楽しんでいることが多く、話の内容は理解できていないことが多い。

A児は、実践から学んだ言葉や知識についての理解は比較的できているが、抽象的な事象や一般常識についての理解は乏しい。また、言葉の意味を勘違いして覚えていることも多い。今までに学習した漢字はほぼ正確に読めるが、数種類の読み方があったり音読み訓読みがあったりすると正しく読むことができない。文字を書くことについては、指先に力が入らないため筆圧が弱い、指先を器用に動かすことができない等の理由のため、字形の整った文字を書くことが難しい。そのため、国語科の学習では、新出漢字の練習はなぞり書きをさせ、視写する場合は、一文視写や抜き書き視写に取り組ませている。作業の集中時間は短いが見通しをもつことによって集中して取り組むことができる。

これらの実態や障がい特性を踏まえ、本単元では「新出漢字を正しく読むこと」「新出漢字をなぞって書くこと」「語彙を広めること」を身に付けさせるとともに、「会話文に着目させること」「会話文の前後にある行動を表す言葉を見つけること」を指導することを通して読む力を身に付けさせたい。

### (2) 教材について

「白いぼうし」は帽子を拾ったタクシー運転手の松井さんと、擬人化されたちょうの心の交流を軸に、お客の紳士との会話、虫とりあみをかかえた男の子とその母親の様子など、初夏のさわやかな陽光の中での人々の触れ合いを温かく描き出した作品である。松井さんの優しさを中心に、現実と非現実が交錯する不思議な世界を、「夏みかんのにおい」という嗅覚のイメージ語、「白い帽子」「もんしろちょうの白」「信号の赤・青」「並木の緑」などの色彩のイメージ語をちりばめ、読者にさわやかさを感じさせながら展開していく。様子や心情を読み取ったり、想像したりすることに困難さがあるA児にとっては、場面ごとに学習する中で会話文に着目させるとともに、その前後にある主人公の行動を表す言葉と結び付けることにより、主人公の「やさしい」「親切」等の人柄に気付かせる学習に適した教材と考える。また、においや色を表す言葉や比喩表現についての理解を広げることに適した教材と考える。第三次には、本の探し方を知り、「おすすめの本」カードを作って紹介する活動へと発展させていくことにより、本に親しむことができる単

元である。

### (3) 指導について

本単元では、言葉の意味を正しく理解したり、会話文やその前後にある行動を表す言葉から主人公の人柄を考えたりすることを目標とする。

第一次では、全文を読み、「登場人物を見付けること」「誰の会話か確かめること」を通して、内容を正しくとらえることを指導していく。

第二次では、場面ごとに主人公の会話文から、主人公のやさしい親切な人柄を考えることを指導していく。その手がかりとして、会話文の前後にある主人公の行動を表す言葉を見付けることを教えていく。また、ノートに視写する際、「車のいろは空のいろ 白いぼうし(ポプラ社)」の松井さんの挿絵を示し、挿絵からも松井さんの人柄についてイメージさせていく。言葉についての指導としては、においや色を表す言葉を見つけさせるとともに、比喩表現の正しい意味を教える。

第三次では、学習の発展として、実際に図書室の本を探したり、自分の「おすすめの本」カードを作る活動をしたりして、読書に親しむための知識と技能を指導していく。「おすすめの本」カードは交流学級の児童に紹介することで、交流の機会を設ける。

また、A児の障がい特性を踏まえ、普段の学習の流れを変えることなく、一単位時間の流れを「うがい・手洗い」→「あいさつ」→「学習内容の確認」→「漢字の学習」→「音読」→「視写」とパターン化し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにするとともに、一つの課題を10分程度とし、集中して学習に取り組むことができるようにする。一つの活動が終わるごとに自己評価させることで、気持ちの切り替えを図る。

## 3 単元の目標

- 物語を楽しんで読もうとすることができる。(関心・意欲・態度)
- 場面の移り変わりに気付くことができる。(読むこと)
- 会話文から、主人公の人柄を考えることができる。(読むこと)
- 新しい漢字の読みや新しく知る言葉、においや色を表す言葉の意味や比喩表現を知ることができる。(伝統的な言語文化と国語の特性に関する事項)

## 4 単元指導計画と評価規準(16時間)

次	指導目標	時	主な学習活動	指導事項と言語活動	評価規準
第一次	・物語を読み作品に関心をもつことができる。	1	○「白いぼうし」を通して登場人物を確認する。 ○においや色を表す言葉に気付く。	○内容を確かめながら読む。 <b>本文から登場人物やにおいや色を表す言葉を見付ける活動</b>	○興味をもって読んでいる。(関心・意欲・態度)
	・学習の見通しをもつことができる。	2	○四つの場面に分け、場面ごとに学習を進めるという見通	○内容を確かめながら読む。 <b>四つの場面を見付</b>	○第一次～第二次の学習の見通しをもっている。

			しをもつ。	ける活動	(関心・意欲・態度)
	・場面ごとに会話文を見付け、誰の会話か確かめることができる。	3	○音読しながら会話文を見つけ、色分けしたシールをはる。	○内容を確かめながら読む。 <b>会話文を見付ける活動</b>	○誰の会話文か分かり、その人物名を述べることができる。(読むこと)
第二次	・一の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考えることができる。	4	○一の場面の会話文から、松井さんがどんな人か考える。 ○松井さんの行動を表している言葉を見付ける。 ○においや色を表す言葉を見付ける。	○場面の様子の変化を確かめながら読む。 <b>会話文を読む活動</b> <b>会話文を抜き書き視写する活動</b> <b>新出の漢字や言葉の意味や使い方を知る活動</b>	○一の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考え、ノートに書くことができる。(読むこと)
	・二の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考えることができる。	5 本時	○二の場面の会話文から、松井さんがどんな人か考える。 ○松井さんの行動を表している言葉を見付ける。 ○においや色を表す言葉を見付ける。 ○比喩表現について知る。		○二の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考え、ノートに書くことができる。(読むこと)
	・三の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考えることができる。	6	○三の場面の会話文から、松井さんがどんな人か考える。 ○松井さんの行動を表している言葉を見付ける。 ○においや色を表す言葉を見付ける。		○三の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考え、ノートに書くことができる。(読むこと)
	・四の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を	7	○四の場面の会話文から、松井さんがどんな人か考える。 ○松井さんの行動を		○四の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を

	考えることができる。		表している言葉を見付ける。 ○においや色を表す言葉を見付ける。		考え、ノートに書くことができる。(読むこと)
	・会話文に気を付けて音読し、まとめの感想をもつことができる。	8	○会話文に気を付けて音読する。 ○まとめの感想をもつ。		○会話文に気を付けて音読し、まとめの感想を話すことができる。(読むこと)
第三次	・第三次の学習の見通しをもつことができる。	9	○本の探し方を知り、同じ作者のほかの本を探すことを知る。 ○自分の好きな本の「おすすめの本」カードを作り、交流学級の友達に紹介することを知る。	○内容を確認しながら読む。 <b>学習の見通しの確認</b>	○第三次の学習の見通しをもつことができる。(関心・意欲・態度)
	・図書室での本の探し方を知り、本を探すことができる。	10	○図書室での本の探し方を知る。 ○学習で使う本を探す。	○内容を確認しながら読む。 <b>自分の読みたい本を探す活動</b>	○自分が読みたい本をさがすことができる。(関心・意欲・態度)
	・同じ作者のほかの作品を読むことができる。	11	○同じ作者のほかの本を知る。 ○気に入った本を読む。	○内容を確認しながら読む。 <b>楽しみながら読書をする活動</b>	○同じ作者のほかの作品に興味をもち、読むことができる。(読むこと)
	・「おすすめの本」カードの作り方を知り、紹介する本を選ぶことができる。	12	○教科書の例を見て、カードの作り方を知る。 ○紹介する本を選ぶ。	○内容を確認しながら読む。 <b>紹介する本を決める</b>	○「おすすめの本」カードの作り方を知り、紹介する本を選ぶことができる。(関心・意欲・態度)
	・選んだ本を読み、カードに書く内容を決めることができる。	13	○選んだ本を読む。 ○カードに書く内容を決める。	○内容を確認しながら読む。 <b>カードに書く内容を考える活動</b>	○選んだ本を読み、カードに書く内容を決めることができる。(読むこと)
	・「おすすめの本」	14	○ワークシートを利	○内容を確認しながら	○ワークシートを

	カードを作ることができる。		用し「おすすめの 本」カードを作る。	ら読む。 <b>カードを作る活動</b>	利用し「おすすめの本」カードを作ることができる。(書くこと)
	・交流学級で友達に本の紹介をすることができる。	15	○交流学級で友達に本の紹介をしたり、友達の本の紹介を聞いたりする。	○内容を確認しながら読む。 <b>楽しみながら本の紹介をする活動</b>	○自分の作った「おすすめの本」カードを交流学級で友達に紹介することができる。(話すこと・聞くこと)
	・学習の振り返りをし、自分のがんばりに気付くことができる。	16	○第一次からの学習を振り返る。 ○自分のがんばりを思い出す。	○内容を確認しながら読む。 <b>自分の活動を振り返る活動</b>	○学習を振り返り、自分のがんばりに気付くことができる。(関心・意欲・態度)

## 5 本時の指導(5/16時間)

### (1) 目標

二の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考えることができる。

(読むこと)

### (2) 具体の評価規準

A	B	支援の手立て
二の場面の会話文だけではなく、行動からも「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考え、ノートに書いている。	二の場面の会話文から、「やさしい」「親切」等、主人公の人柄を考え、ノートに書いている。	松井さんの四つの会話文を読ませる。会話文の前後にある松井さんの行動を表す言葉を教える。

### (3) 本時の指導事項

A児の障がい特性に配慮し、登場人物の気持ちや場面の様子を想像させることよりも、会話文やその前後の行動を表す言葉を見付け、それらから人柄を考えることを指導する。そのために、第一次の第三時で見付けた主人公の会話文を抜き書き視写させる活動を通して、主人公の会話文を確認させるとともに、主人公の人柄について考えさせる。会話文の前後にある主人公の行動を表す言葉が手がかりになることも教え、考えるヒントとさせる。

また、言葉の意味を正しく身に付けさせるために、音読を通して新出漢字やにおいや色を表す言葉、比喩表現にもふれ、指導する。



20分	<p>・帽子を見付けました。</p> <p>○「あれっ。」では？</p> <p>・びっくりしています。</p> <p>○「ははあ、わざわざ～」では？</p> <p>・気が付いています。</p> <p>○「せっかくのえものが～」では？</p> <p>・がっかりすると思っています。</p> <p>○誰ががっかりすると思っているのですか。</p> <p>・この子です。</p> <p>○もんしろちょうがいなくなって、松井さんはどうしましたか。</p> <p>・かわりに夏みかんを入れました。</p> <p>○松井さんがどんな人か、ノートに書いてみましょう。</p> <p>7 本時の学習のまとめをする。</p> <p>○今日の場面で好きなところを音読しましょう。</p>	<p>・ヒントとして会話文の後の「あわててほうしを～」を教える。</p> <p>・ヒントとして会話文の後の「ため息をついている松井さん～」を教える。</p> <p>・ヒントとして会話文の後の「かたをすぼめてつつ立っていた松井さんは、～」を教える。</p> <p>・もんしろちょうのかわりに夏みかんを入れた行動に松井さんの人柄が表れていることを教える。</p> <p>*会話文から松井さんの人柄について考えることができる。(ノート)</p> <p>・まとめの読みとして本時の学習場面の中から自分の好きなところを音読させる。</p>
10分	<p>おわ 8 自分の好きな本を借りて読む。</p> <p>り ○これで視写も終わりましたね。よくがんばりましたね。お楽しみの読書です。○分間時間があります。どうぞ。</p> <p>9 学習を振り返りがんばりを発表する。</p> <p>○今日の国語でがんばったことは何ですか。</p> <p>・漢字です。</p> <p>○音読もすらすら読めていましたね。よくがんばりましたね。</p> <p>10 次の時間の予告をする。</p> <p>○明日の国語の時間は 57 ページ4行目からの三の場面の学習をしていきましょう。では終わりのあいさつをしましょう。</p> <p>・これで五時間目の国語のお勉強を終わります。</p>	<p>・学習にがんばって取り組んだことを認めA児の好きな読書の時間を設ける。</p> <p>・A児のがんばりを認めるとともにA児が気付いていないがんばりを示し、自信をもたせる。</p> <p>・次時の学習内容を伝え、見通しをもたせるとともに、次時への意欲をもたせる。</p>

(5) ノート計画